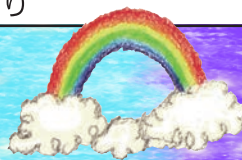


社会福祉法人 湖会

松代福祉寮だより



《発行所》
 松代福祉寮
 〒381-1221
 長野市松代町東条字腰巻108-2
 ☎(026)278-2556
 URL <https://matsushiro-fukushi.jp>
 《発行人》
 寮長 宮下 孝子
 《印刷所》
 (株) 日商印刷



創立70周年を迎えて時代とともに変化する児童養護施設松代福祉寮

社会福祉法人湖(みずうみ)会 理事長 香山 篤美

このたび松代福祉寮は創立70周年を迎えました。松代地区の皆様には創立以来、松代福祉寮の子ども達を温かくみまもってください、ご支援ご協力をいただいておりますことに感謝でございます。

昭和27年に松代福祉寮が松代東条の地に産声を上げた当時は、終戦後の戦災孤児を中心とした身寄りのないお子さんをお預かりするケースが多かったようですが、現在では親御さんはいらっしゃっても、何らかの事情で、家庭で養育できないお子さん方(約50名)をお預かりして、より家庭的な環境の中で養育し、将来社会の中で自立していけるように取り組んでおります。

今までは幼児さんから18才までのお子さんをお預かりして、高校を卒業すると、寮から出て自立するのが原則でした。しかしながら高校卒業後、就職し自分自身で自立していくには様々な困難が待ち受けています。先ごろ児童福祉法が国会で改正され、今後18才以降も必要な場合には年齢での制限せず、寮での生活をする事が可能となってきます。卒業生の社会的な自立のためのアフターケアを、より充実させていきたいと考えております。

また、日本の子どもたちを取り巻く環境は、時代とともに大きく変わり、子育てに不安を抱える保護者の方が増えてきています。

児童養護施設の社会的な役割も、施設が持つ専門機能を活かし、地域の子育て家庭を支援する地域福祉の推進が社会的な使命となってきました。

松代福祉寮では、福祉寮本体に併設して松代児童相談センター「ふらっと」を運営しております。この相談センターには心理士をはじめ3名のスタッフが常駐し、長野市近隣地域の子育ての悩みを持つ親子さんの子育ての不安や課題の相談に乗って子育てのサポートをしております。またお子さん自身からのご相談にものっていますので、お気軽にお立ち寄りくださいませ。

なお、育児に疲れたり、事情があつて数日お子さんを預かって欲しい場合には、福祉寮に併設している松代児童預かりセンター「ひととき」にて、長野市からの委託により一週間を限度にお子さんをお預かりすることができます。

現在、お申し込みをいただいても、対応できない場合が増えたため、今後ご要望に応えられるように拡充していきたいと考えております。

また、里親制度の推進する担当者も配置して、里親の相談や里親制度の普及に務めております。

今後も法人施設一体になって、行政と協働しながら地域の皆様共々、次代を担う子どもたちが、心豊かに、健やかに育つよう、全力を尽くして児童福祉の向上、地域福祉の推進に努めて参りたいと思います。

今後の更なるご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

創立70周年記念 事業

今年の創立70周年記念事業は、大きく4つの柱で実施をしていきます。

- 1 記念誌の発刊** 「愛につながる第4集」を10月に発刊いたします。一口に10年と言えども、大きく変化した松代福祉寮や写真を通じて振り返って頂ければと考えております。
- 2 記念式典の実施** 70周年の節目として、記念式典を実施致します。コロナの終息は、未だではございますが感染対策を行い、地域の皆様をはじめとして関係機関の皆様と一緒に祝いが行えたらと思っています。
- 3 虹寮祭の実施** 令和元年は台風19号に見舞われ、令和2年・3年はコロナウイルス感染症の影響で、中止を余儀なくされました。3年ぶりの開催となります。地域の皆様に毎年楽しみにして頂いた虹寮祭ですので、今年度開催できることに感謝し、感染対策をしながら皆様に楽しんで頂けるような企画で行います。是非、足を運んで頂けたら幸いです。
- 4 記念品の実施** 70周年の節目の記念となるような、記念品を作成し関係の方々にお渡しできたらと考えております。

以上、4つの記念事業を進めております。70周年イヤーとして、思い出に残るような1年としていけるように尽力して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

時代は変わっても、子供や職員さんが変わっても、「未来を担う子供たちの為に」は、今もなお変わらない私達の役割だと思います。創立70周年を機に、これからも松代福祉寮が地域の中で、子供達の支援をしていければと思っています。

今後も、どうぞ宜しくお願い致します。



昭和32年(1957年)



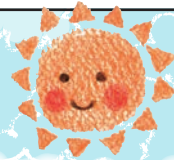
昭和55年(1980年)



平成27年(2015年)

社会福祉法人 湖会

松代福祉寮だより



《発行所》
 松代福祉寮
 〒381-1221
 長野市松代町東条字腰巻108-2
 ☎(026)278-2556
 URL <https://matsushiro-fukushi.jp>
 《発行人》
 寮長 宮下 孝子
 《印刷所》
 (株) 日商印刷



創立70周年を迎えて時代とともに変化する児童養護施設松代福祉寮

社会福祉法人湖(みずうみ)会 理事長 香山 篤美

このたび松代福祉寮は創立70周年を迎えました。松代地区の皆様には創立以来、松代福祉寮の子ども達を温かくみまもってください、ご支援ご協力をいただきありがとうございましたことに感謝でございます。

昭和27年に松代福祉寮が松代東条の地に産声を上げた当時は、終戦後の戦災孤児を中心とした身寄りのないお子さんをお預かりするケースが多かったようですが、現在では親御さんはいらっしゃっても、何らかの事情で、家庭で養育できないお子さん方(約50名)をお預かりして、より家庭的な環境の中で養育し、将来社会の中で自立していけるように取り組んでおります。

今までは幼児さんから18才までのお子さんをお預かりして、高校を卒業すると、寮から出て自立するのが原則でした。しかしながら高校卒業後、就職し自分自身で自立していくには様々な困難が待ち受けています。先ごろ児童福祉法が国会で改正され、今後18才以降も必要な場合には年齢での制限せず、寮での生活をする事が可能となってきます。卒業生の社会的な自立のためのアフターケアを、より充実させていきたいと考えております。

また、日本の子どもたちを取り巻く環境は、時代とともに大きく変わり、子育てに不安を抱える保護者の方が増えてきています。

児童養護施設の社会的な役割も、施設が持つ専門機能を活かし、地域の子育て家庭を支援する地域福祉の推進が社会的な使命となってきました。

松代福祉寮では、福祉寮本体に併設して松代児童相談センター「ふらっと」を運営しております。この相談センターには心理士をはじめ3名のスタッフが常駐し、長野市近隣地域の子育ての悩みを持つ親子さんの子育ての不安や課題の相談に乗って子育てのサポートをしております。またお子さん自身からのご相談にものっていますので、お気軽にお立ち寄りくださいませ。

なお、育児に疲れたり、事情があつて数日お子さんを預かって欲しい場合には、福祉寮に併設している松代児童預かりセンター「ひととき」にて、長野市からの委託により一週間を限度にお子さんをお預かりすることができます。

現在、お申し込みをいただいても、対応できない場合が増えたため、今後ご要望に応えられるように拡充していきたいと考えております。

また、里親制度の推進する担当者も配置して、里親の相談や里親制度の普及に務めております。

今後も法人施設一体になって、行政と協働しながら地域の皆様共々、次代を担う子どもたちが、心豊かに、健やかに育つよう、全力を尽くして児童福祉の向上、地域福祉の推進に努めて参りたいと思います。

今後の更なるご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

創立70周年記念 事業

今年の創立70周年記念事業は、大きく4つの柱で実施をしていきます。

- 1 記念誌の発刊** 「愛につながる第4集」を10月に発刊いたします。一口に10年と言えども、大きく変化した松代福祉寮や写真を通じて振り返って頂ければと考えております。
- 2 記念式典の実施** 70周年の節目として、記念式典を実施致します。コロナの終息は、未だではございますが感染対策を行い、地域の皆様をはじめとして関係機関の皆様と一緒に祝いが行えたらと思っています。
- 3 虹寮祭の実施** 令和元年は台風19号に見舞われ、令和2年・3年はコロナウイルス感染症の影響で、中止を余儀なくされました。3年ぶりの開催となります。地域の皆様に毎年楽しみにして頂いた虹寮祭ですので、今年度開催できることに感謝し、感染対策をしながら皆様に楽しんで頂けるような企画で行います。是非、足を運んで頂けたら幸いです。
- 4 記念品の実施** 70周年の節目の記念となるような、記念品を作成し関係の方々にお渡しできたらと考えております。

以上、4つの記念事業を進めております。70周年イヤーとして、思い出に残るような1年としていけるように尽力して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

時代は変わっても、子供や職員さんが変わっても、「未来を担う子供たちの為に」は、今もなお変わらない私達の役割だと思います。創立70周年を機に、これからも松代福祉寮が地域の中で、子供達の支援をしてければと思っています。

今後も、どうぞ宜しくお願い致します。



昭和32年(1957年)



昭和55年(1980年)



平成27年(2015年)